

日野市教育委員会 様

日野市立日野第八小学校

校 長 船 山 徹

(公印省略)

令和 7 年度教育課程について (届)

このことについて、日野市公立学校の管理運営に関する規則に基づき、特別支援学級（自閉症・情緒障害）の教育課程を下記のとおりお届けします。

記

1 教育目標

(1) 学校の教育目標

人権尊重の精神を基盤とした豊かな創造性と、主体的・協働的に行動して社会に貢献する資質・能力を備えた、持続可能な社会の担い手となる子供を育むため、次の子供像を設定する。

- ◎深く考え やりぬく子供 … AAR サイクルを自ら回し続け、課題を解決する力
- 力を合わせ はげみ合う子供 … 仲間と協働的に関わり、集団の中で自分を生かす力
- 健康で たくましい子供 … 心身共に健康で、運動を通して自らの生活を豊かにする力
- 美しい 豊かな心の子供 … 自他の生命を大切にし、多様な他者とよりよく生きる力

(2) 特別支援学級の教育目標

- 自分に合った学び方で、意欲をもって学ぶ子供
- 自分も仲間も大切にし、共に生活する子供

(3) 学校、学級の教育目標を達成するための基本方針

「今より もっと楽しい学校をつくる」を子供と教職員の共通目標として、「子供たちが、自分たちの学校を自分たちの力でつくる」活動に取り組むことを通して、これからの社会の中で自立して生きる力の基盤を育む。そのために、次の 2 点を基本方針とし、第 4 次日野市学校教育基本構想に基づく『子供たちがつくる学校』プロジェクトを実施し、学校、学級の教育目標を達成する。

ア 「自分に合った学び方で、意欲をもって学ぶ子供」を育てるために

- 子供の学習状況を把握し、障害の特性に応じた環境を整え、個別最適な学習形態を工夫して、子供が主体的に学ぶ学習活動を通して基礎・基本を定着させる。
- ユニバーサルデザインを取り入れ、授業の構造化（視覚化・焦点化・共有化）及び ICT の効果的な活用により、子供の集中力を高め、意欲をもって学習活動に取り組めるようにする。
- 自分が得意な学び方を身に付け、子供が自らの力を活用・発揮し、興味・関心のある課題を見いだしてその解決に主体的に取り組んだり、苦手な課題にも挑戦したりする力を高め、自らの力で成功体験を味わうことができるようにする。

イ 「自分も仲間も大切にし、共に生活する子供」を育てるために

- 障害の特性に応じた集団参加の方法を工夫し、他者と協働して学習や学校生活の課題の解決に取り組む、達成感や成就感を実感することを通して自己肯定感を高める。
- 人権教育、道徳教育、特別活動を中心に、自他の生命を尊重し、利他や感謝の心を育み、身近な仲間や多様な他者との人間関係を構築する力を高める。
- 子供の実態に応じて通常の学級との交流及び共同学習、縦割り班活動、地域での学習活動等を行い、様々な集団や人と関わる楽しさを知り、コミュニケーション能力を高める。

第2表

学校名 小 09 日野市立日野第八小学校（特別支援学級）

2 指導の重点

(1) 各教科、特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動

ア 各教科

- ① 主体的に学習に取り組む態度や基礎的・基本的事項を身に付けるため、学習の展開を可視化、構造化し、児童が見通しをもち、安心して分かりやすく学べる環境を整え、指導と評価を一体化させながら、学習の成果を確かめ、スモールステップで活動に取り組める学習指導を行う。
- ② 集中力が持続しない課題や苦手な課題にも取り組む意欲と態度を育むため、小集団による学習や身体活動を取り入れたり、学習者用端末を活用したり、講師や介助員を有効に活用したりすることにより、柔軟な授業形態によって一人一人の特性に応じた学習指導を行う。
- ③ 自己理解を深め、自立に向けて必要な事項を身に付けるため、自立活動の内容と関連付けながら、自己選択や自己決定、自己評価をしたり、自分の考えを表現し、認め合ったりしながら取り組むことができる学習指導を行う。
- ④ 適切な運動経験を通して運動に親しむ態度と基礎的な運動感覚を育み、健康の増進と体力の向上を図るため、体幹を鍛えたり四肢の協調を高めたりする運動を取り入れた体育及び体育的活動を計画的に実施する。

イ 特別の教科 道徳

- ① 「生命の尊さ」を重点内容項目とし、児童が多様な問題を自分の問題として捉え、考えを深めていくことができるようにするため、ペアでの対話や少人数で思いや考えを伝え合う活動、体験的な活動などを取り入れた授業を行う。
- ② 保護者と一貫した指導が行えるようにするため、道徳授業地区公開講座や授業公開等を通して、自分も友達も大切にし、認め合うこと、善悪を正しく判断すること、集団のルールを守ることなどをテーマにした授業を実施し、保護者と共に考える場を設定する。

ウ 外国語活動

- ① 外国語の文化や言語に関する興味・関心を高め、積極的にコミュニケーションを行おうとする態度を育むため、ALTと連携してコミュニケーションの場を多く設定し、体験的な活動を取り入れた授業を行う。

エ 生活科・総合的な学習の時間

- ① 各教科で身に付けた知識や経験を生かし、自分が興味・関心のあることについて主体的に考え、自ら課題を設定し、他者との協働によって課題を解決していく問題解決的な活動や探究的な活動に取り組む授業を行う。
- ② ESD（持続可能な開発のための教育）、SDGs、環境教育の推進を視野に入れ、学校や地域の自然や人材、施設等を生かし、児童が積極的に地域に関わったり、貢献したりすることができる授業を行う。

オ 特別活動

- ① 児童と教員が共有する目標「今より もっと楽しい学校をつくる」の実現を目指し、集団の一員としての自覚を高め、互いに認め合い、協力してよりよい生活を築こうとする実践力を育てるため、学級会活動における話し合い活動を充実させ、話し合って決めたことを実践し、結果について振り返る活動を行う。
- ② 責任感や思いやりの心、協働意識や集団への所属感、社会に貢献する意欲等を育てるため、個々の状況に応じて学校行事、クラブ・委員会活動、異学年による縦割り班活動に参加し、各学年の発達の段階に応じた役割を果たす活動に取り組めるようにする。
- ③ 児童が主体的に学び、自ら自己実現を図る力の基盤を身に付けられるようにするため「キャリア・パスポート」を活用し、児童が自らのキャリア形成を見通したり、自己の学びやその成果を自己評価して新たな課題を設定したりする活動を、年間を通して実施する。

カ 自立活動

- ① 心身の調和的な発達の基盤を培うと共に、障害による学習または生活上の困難さを改善・克服するための知識及び技能、態度、方法、習慣等を習得し、日常生活や将来の自立において活用できるようにするため、自立活動の時間を設定し、児童の状況に応じて、自立活動6区分27項目の中から重点化した指導を行う。
- ② ソーシャルスキルを身に付け、集団の中で状況に応じた行動をとり、自分に合った対処の仕方を身に付けられるようにするため、人への信頼感、他者の感情を理解する力、自分の得意・不得意や行動の特徴を理解できるようにする指導を、個別指導計画に基づいて計画的に行う。
- ③ 自立活動での学びを、教科や領域、特別活動の中で生かせるよう、教科等の年間指導計画との関連を踏まえた指導を行う。
- ④ 自立活動で身に付けた力をさらに高めるため、児童及び保護者のニーズと児童の個別の状況等を踏まえ、通常の学級との交流及び共同学習を計画し実施する。同時に、通常の学級の児童と、互いに尊重し合いながら共同して生活する態度を育む。

(2) 生活指導の重点

- ① 学校生活の共通指導事項「八小のきまり」に基づく指導を、児童の個別の状況に応じ、保護

者の理解と協力を得て実施する。

- ② いじめを許さない学級づくりを推進するため、いじめの未然防止、早期発見、早期対応のための「学校生活アンケート」を年3回実施して実態を把握するとともに、「いじめ防止基本方針」に基づく対応を継続的に行う。
- ③ 不登校の未然防止と早期対応を行い、不登校にある児童の状況改善を図るため、担任間の連携、校内委員会との連携、スクールカウンセラースクールソーシャルワーカーの活用、発達・教育支援センター（エール）、子供家庭支援センター、医療機関、その他の関係機関と連携し、児童の状況や家庭の状況等に応じた具体的な支援を行う。
- ④ 生活安全、交通安全、災害安全に関する知識や行動を身に付け、自らの生命を自ら守る力を身に付けることができるようにするため、学年の段階に応じてセーフティ教室、交通安全・自転車安全教室、不審者対応訓練、薬物乱用防止教室、SOSの出し方に関する教育、生命（いのち）の安全教育、インターネットやSNSの正しい活用をはじめとする情報モラルに関する指導を行う。

（3）進路指導の重点

- ① 社会的・職業的な自立の基盤となる望ましい勤労観等を身に付け、児童が自分の将来に夢がもてるようにするため、キャリア教育全体計画を基に、各教科等との関連を図り、異学年及び地域や関係機関を含めた多様な他者との交流活動や体験的な活動を行う。
- ② 児童が自己の学校生活を振り返り、自分に合った目標をもち、その達成を目指して活動する力を育むため、キャリア・パスポートを活用した計画的・実践的な活動を行う。

3 教育目標達成のための特色ある教育活動・その他配慮事項等

- ① 集団に参加し、多様な他者と接することを通して、仲間と共に活動をつくりあげる経験を、発達の段階に応じて積み重ねていくことができるようにするため、異学年による「なかよし班活動」に参画し、各学年の役割に応じた活動を行う。
- ② 「子供たちがつくる学校」を実現するために、「生活・総合的な学習の時間」「教科等の学習」「特別活動」の授業を工夫し、児童の個々の状況や学級の状況に応じて、子供主体の学習活動の在り方、児童同士が対話を通して最適解・納得解を見いだす学習活動の在り方等を、校内研究を通して実践的に追究する。
- ③ 個別指導計画に基づき、個々の特性や状況に応じた活動を行えるようにするため、ICTの効果的な活用、リラクセススペースやカームダウン・クールダウンスペースを活用した活動、作業的・体験的な活動を意図的・計画的に行う。
- ④ 児童に多様な経験をさせるため、活動の場を広げ、地域の一員としての自覚や社会とのつながりについての理解を深めるため、地域施設等と積極的に関わり、地域と共に行う活動・貢献する活動を行う。
- ⑤ 司書教諭との連携により、学校図書館の機能を生かした学習活動や、児童の心情を豊かにする読書活動を計画的に行う。
- ⑥ 自己の将来を見つめ、主体的・自律的に生活し、自立して生きるための資質や能力を育むため、主権者・消費者としての在り方を学ぶ活動、情報モラルを身に付ける活動、学校2020レガシーに基づき、アスリートの生き方に触れたり多様な運動を経験しその楽しさに触れたりする活動を計画的に行う。
- ⑦ 通常の学級との交流を深め、教科等及び自立活動等で学んだことを実践し、集団の中で自分のよさを発揮し、成功体験を重ねる場として、保護者との合意形成を行ったうえで、児童の状況に応じて、適切な時期及び内容による交流及び共同学習を行う。
- ⑧ 学級経営の改善及び安定した運営を図るため、特別支援教育校内委員会において学級の運営状況や課題等について定期的に報告し、改善策を具体化し、実行し、振り返り、さらなる改善を行うという「AARサイクル」に基づく取り組みを行う。
- ⑨ 本学級の担任及び全教職員の自閉症・情緒障害に関する知見を広め、特性を踏まえた児童とのかかわりを構築し、全教職員による指導体制を確立するため、自閉症・情緒障害に関する研修を計画的に実施する。また、特別支援教室及び本学級の双方の指導の充実と教室経営の充実を図るため、特別支援教室担当教員と本学級担任との連携を強化し、指導方法や教材等を共有し合う場を、定期的に設定する。さらに、東光寺小学校つぐみ学級担任、七生特別支援学校との連携を構築すると共に、巡回心理士の参観、専門家による巡回相談等の機会を生かし、効果的な指導方法等について指導・助言を得る。
- ⑩ 進学後を視野に入れ、小・中学校9年間の系統性・連続性のある指導が行えるようにするため、児童の居住地の指定中学校の通常の学級、日野市立中学校の自閉症・情緒障害特別支援学級と連携を構築し、本学級における指導方法を改善・充実させると共に、情報収集を行い必要に応じて児童や保護者に情報提供を行う。

様式2の①（小学校）

学校名 小09 日野市立日野第八小学校（特別支援学級）

4 授業日数及び授業時数の配当

(1) 年間授業日数配当表

学年	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
1		17	20	21	14	5	20	22	18	19	16	18	17	207
2		17	20	21	14	5	20	22	18	19	16	18	17	207
3		17	20	21	14	5	20	22	18	19	16	18	17	207
4		17	20	21	14	5	20	22	18	19	16	18	17	207
5		17	20	21	14	5	20	22	18	19	16	18	17	207
6		17	20	21	14	5	20	22	18	19	16	18	17	207
備 考	①振替なしの土曜日授業の日数は0日													

(2) 各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動、自立活動、各教科等を合わせた指導の年間授業時数配当表

①各教科

教科名		学年						1	2	3	4	5	6
各教科	国 語							272	285	235	235	170	170
	社 会									70	80	93	93
	算 数							125	170	170	170	170	170
	理 科									70	90	92	92
	生 活							80	80				
	音 楽							60	60	55	55	50	50
	図 画 工 作							60	60	55	55	50	50
	家 庭											45	45
	体 育							90	90	90	90	90	90
	外 国 語											55	55
う 知的 特別 支援 学校 の 各 教科		内 容 (例)											
	国 語	・話す、聞く、読む、書く の基礎・基本及び様々な自己表現の学習、文章を読み情報の関係について理解する											
	算 数	・身の周りの事柄、自分の生活に必要な数量、図形、時間、金銭の学習、身の回りの事象を簡単な図を用いて整理する											
	音 楽	・歌唱（特に季節や行事に関する曲）、器楽、リズムやダンス、鑑賞等											
	図画工作	・様々な素材を使った描画や工作、造形遊び、粘土等の造形活動											
小 計	体 育	・基本的な運動、用具や器具を使った運動、水泳、ゲーム性のある運動、健康や身体の変化について知り基礎的な知識を身に付ける											
								687	745	745	775	815	815

② 道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動、自立活動

内容・学年	内 容	1	2	3	4	5	6
道徳科	・社会生活の中でのきまり、親切・思いやり、礼儀、公德心、生命尊重等	34	35	35	35	35	35
外国語活動	・身近な数や色、物の名前、挨拶等の英語、及び外国の文化等			25	25		
総合的な学習の時間	・自然環境、キャリア教育、国際交流、地域との交流活動、ICT活用教育等			50	55	60	60
特別活動	・学級内での係活動、行事に向けての話し合い及び活動等の自主性、協働性、責任感等	34	35	35	35	35	35
自立活動	・身体機能や言語機能、対人関係の改善等において障害特性を配慮しながら、適切な形で行う。	95	95	90	90	70	70
小 計		163	165	235	240	200	200

③ 各教科等を合わせた指導

内容・学年 指導の形態	内 容	1	2	3	4	5	6
日常生活の指導							
遊 び の 指 導							
生 活 単 元 学 習							
小 計							

(3) 年間総授業時数

年間総授業時数 (①+②+③)	1	2	3	4	5	6
	850	910	980	1015	1015	1015
備 考	・1単位時間は45分とする。 ・クラブ活動は、60分とし、年間12回実施する。 ・総合的な学習の時間の名称は、「総合的な学習の時間」とする。 ・第1学年は、上記の総計に加えてスタートカリキュラムを30時間設定する。					

4 学 校 行 事

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
日	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事
1	火		木	校外学習(4)	日		火		金		月	
2	水		金	避難訓練	月		水	避難訓練	土		火	避難訓練
3	木		土	憲法記念日	火		木		日		水	
4	金		日	みどりの日	水		金		月		木	
5	土	春季休業日終	月	こどもの日	木		土		火		金	
6	日		火	振替休日	金	安全指導	日		水		土	
7	月	始業式 入学式	水	安全指導	土		月		木		日	
8	火		木		日		火	SOSの出し方に関する教室(5)	金		月	
9	水	給食始	金		月	水泳指導始	水	安全指導	土		火	学校公開日始
10	木	定期健康診断始	土		火		木		日		水	安全指導 学校公開日終
11	金		日		水		金		月	山の日	木	
12	土		月		木	セーフティ教室(1・2・3)	土		火	閉庁日始	金	
13	日		火	校外学習(1)	金		日		水		土	
14	月	1年給食始	水		土		月		木		日	
15	火		木		日		火		金	閉庁日終	月	敬老の日
16	水		金	学校公開日始	月		水		土		火	
17	木	国学力調査(6)	土	学校公開日終	火	日光移動教室(6)始	木	給食終 水泳指導終	日		水	
18	金	避難訓練	日		水		金	終業式	月		木	
19	土		月	振替休業日	木	日光移動教室(6)終	土		火		金	
20	日		火	交通安全教室(1)	金	セーフティ教室(4・5・6)	日		水		土	
21	月	市学力調査(5) 校外学習(3)	水	体力テスト始 家庭訪問始	土		月	海の日 夏季休業日始	木		日	
22	火		木	体力テスト終	日		火	個人面談始	金		月	
23	水	安全指導	金	家庭訪問終	月		水	夏季学習会始	土		火	秋分の日
24	木		土		火	避難訓練	木		日	夏季休業日終	水	
25	金		日		水		金	個人面談終 夏季学習会終	月	始業式	木	
26	土		月	ハケ岳移動教室(5)始	木		土		火		金	
27	日		火	ハケ岳移動教室(5)終	金		日		水	給食始	土	
28	月		水		土		月		木		日	
29	火	昭和の日	木	自転車安全教室(3)	日		火		金		月	
30	水	校外学習(2)	金		月	定期健康診断終	水		土		火	
31			土				木		日			

学校名 小09 日野市立日野第八小学校(特別支援学級)

月	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
日	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事
1	水		土	開校記念日 東京都教育の日	月		木	元日	日		日	
2	木		日		火	避難訓練	金		月		月	避難訓練
3	金	避難訓練	月	文化の日	水		土		火	避難訓練	火	
4	土		火		木		日		水	安全指導	水	
5	日		水		金		月		木		木	
6	月		木	社会科見学(3)	土		火		金	八小まつり	金	
7	火		金	避難訓練	日		水	冬季休業日終	土		土	
8	水	安全指導	土		月		木	始業式	日		日	
9	木		日		火		金	給食始	月		月	
10	金		月		水	安全指導	土		火		火	
11	土		火		木		日		水	建国記念の日	水	
12	日		水		金		月	成人の日	木		木	
13	月	スポーツの日	木	社会科見学(4)	土		火		金		金	安全指導
14	火		金		日		水		土		土	
15	水		土		月		木		日		日	
16	木		日		火		金	安全指導	月		月	
17	金		月		水		土	学校公開日 道徳授業 地区公開講座	火		火	
18	土	運動会	火		木	社会科見学(6)	日		水		水	
19	日		水	安全指導	金		月	振替休業日	木		木	給食終
20	月	振替休業日	木		土		火		金		金	春分の日
21	火		金	学習発表会始	日		水		土		土	
22	水		土	学習発表会終	月		木	学校公開日 薬物乱用防止教室(6)	日		日	
23	木	災害体験者から学ぶ教室(4)	日	勤労感謝の日	火	給食終	金		月	天皇誕生日	月	離任式
24	金	社会科見学(5)	月	振替休日	水		土		火		火	修了式
25	土		火	振替休業日	木	終業式	日		水		水	卒業式
26	日		水		金	冬季休業日始	月	避難訓練	木		木	春季休業日始
27	月		木	小学校連合音楽会	土		火		金		金	
28	火		金	小学校連合音楽会	日		水		土		土	
29	水		土		月		木	生活科見学(2)			日	
30	木		日		火		金				月	
31	金	生活科見学(1)			水		土				火	